

誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン

令和 7 年 5 月 1 日現在 江戸川区立小岩第二中学校

全国学力・学習状況調査 A・B層の割合		
年度	国語	数学
令和 8 年度の目標	58.0%	55.0%
令和 7 年度の目標	55.0%	52.0%
令和 6 年度の結果	51.4%	48.0%
令和 5 年度の結果	45.1%	37.2%

令和 6 年度江戸川区学力調査結果 A・B層の割合			
学年	国語	数学	英語
第 2 学年	54.5%	38.7%	41.3%
第 1 学年	48.1%	49.2%	45.3%

	目標達成に向けた取組		
	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	・ 年 2 回の研究授業を通し、授業力及び指導力の向上に努める。 ・ 校内研修において教科部会を開き、教材研究、評価などについての情報共有を行う。 ・ 校内研修において外部講師を招き指導及び評価についての研鑽を積む。	・ 計算コンテスト、スペリングコンテスト、漢字コンテストなど既習の内容を確認するテストを年数回行い、基本事項の確認を行う。 ・ 単元テストや小テスト等、単元ごとおよび授業ごとの内容を確認する取り組みを行う。	・ ミライシードの「ドリルパーク」を用いた家庭学習を全学年で行い、毎日取り組ませる。 ・ 学期に 1 度朝読書の時間にStudyweekを行い、ドリルパークを用いた学習期間を設定する。
特に支援が必要な児童・生徒への手だて	・ 年2回、特別支援に関する研修を行い特別支援に関する知識と理解を深める。 ・ フェイスシートを用いて情報を共有し、生徒固有の特性に応じた対応を学校全体で行えるようにする。	・ 放課後の補修教室や定期考査前の質問教室などを通じて学習に不安のある生徒への対応を行う。 ・ 数学に関しては、放課後補習を行う。また、英語についてはALTを活用した「英語クラブ」及び昼休みに行う「英会話教室」を紹介し、英語に親しむ機会を増やす。	・ 取り組みが難しい生徒に対して学習プリントを準備し、取り組みやすい教科、内容を選んで学習できる環境を整える。 ・ 日頃から家庭学習への取り組みについて具体的なアドバイスを行う。
成果指標	・ 授業評価における生徒の評価で「授業の内容はよくわかりますか」の項目が昨年度と比較して 2 ポイント以上上昇している	・ 江戸川区学力調査における昨年度の平均と今年度の平均との差が前年度と比較して 1 ポイント以上改善されている。	・ 全国学力調査の「家庭での学習時間は 1 時間以上」の生徒を 8 5 % 以上